

## 協会記事

### 理事会（平成 21 年度第 1 回）

平成 21 年 5 月 11 日（月）17：30～20：00

当協会役員室にて開催。

出席：前島郁雄（会長）、大森博雄、長谷紘和、江藤哲人、笠原順三、田村俊和、松本 良、三上岳彦、野々村邦夫の各理事（高村弘毅—委任状あり、伊達二郎両理事は欠席）、嶋崎吉彦、野上道男の両監事。

#### I. 議事録の承認

平成 20 年度第 6 回理事会議事録は承認された。

#### II. 報告

##### 1. 編集委員報告：笠原理事

地学雑誌 118 巻 1 号（特集号「メタンハイドレート Part 1」）が 3 月 25 日、118 巻 2 号（通常号）が 4 月 25 日発行済み。118 巻 3 号（特集号「泥火山—その実体と応用地球科学的意義—」）が 6 月下旬、118 巻 4 号（特集号「メタンハイドレート Part 2」）が 8 月下旬、以下、118 巻 5 号（通常号）が 10 月下旬、118 巻 6 号（特集号「海洋地殻内熱水循環と地下微生物圏の相互作用」）が 12 月下旬に発行予定である。なお、現在、投稿されている論文（論説、短報ほか）が 16 編ある。

投稿規程に「追悼文」についての項目を追加することとなった。

##### 2. 行事委員会報告：三上理事

春季講演会が、5 月 30 日（土）午後 3 時から東京地学協会講堂において開催される。講師は、京都大学大学院人間・環境学研究科の金坂清則教授で、演題は、「英国人旅行家イザベラ・バードを科学する—旅、旅行記、写真、ツイン・タイム・トラベル—」である。

##### 3. 助成委員会報告：大森理事

平成 21 年度研究助成金の採択課題の審査結果、今後の助成金報告および同地学雑誌への掲載のあり方などについて、4 月 24 日に開かれた助成委員会の報告がなされた。助成金に対する研究成果の報告は記事として地学雑誌に掲載することとし、研究成果の学術論文

としての地学雑誌への投稿・発表は別途扱うこととした。

##### 4. 渉外委員会報告：野々村理事

IGU の地域会議準備委員会が 6 月 6 日に開催されることになっており、野々村理事が出席する予定である。

##### 5. 国際惑星地球年関連報告：松本理事

5 月 2 日に日本大学カザルスホールで開催された講演とコンサートの夕べ「地球とハーモニー」には、約 315 人の入場者があり盛況であった。

今年度中に日本 IYPE のまとめの行事が計画されており、これに積極的に関係するつもりである。

後続のプロジェクトとして、YES (Young Earth Scientist) が計画されている。

##### 6. 会館委員会報告：長谷理事

会館の定期的な検査の結果、消防設備関連で必要となった工事について、今年度の早い時期に実施する予定である。また、屋上の防水塗装や外部階段の劣化部分の塗装など本年度の工事として検討したい。さらに、会館の建物が建築後 30 年を経過するのに伴って、外壁タイルの劣化補修やエレベーター設備の更新など、大がかりな工事の必要性も出てくるので、計画的に資金を調達するよう配慮する方針である。

##### 7. 業務監査報告：野上監事

定款との関係で、以下の検討事項が指摘された。①第 4 条三項の「地学に関する調査研究」のあり方について検討する必要がある。②当協会の会員でない者を名誉会員にすることができるが、近年は実行されていないので、具体的な方策を検討する必要がある。③会誌は無償配布となっているが、会費との関係を整理すべきである。④会費免除会員の発議の方法を明確にすべきである。⑤ 23 条で顧問を置くことができるとなっているが、現実的に必要なのか。⑥平成 12 年 5 月に細則が改定され、それ以前の細則は廃止されたので付属する内規もいったん無効になったはずであ

り、それらを整理する必要がある。⑦細則にある「表彰」制度については、しばらく行われていないので、検討する必要がある。

### Ⅲ. 議 題

#### 1. 会員の入退会について

入会申込者：後藤忠徳，1名の入会が承認された。また，五十嵐勇作および有田忠雄の2会員が逝去された旨，および賛助会員1者（地質計測株式会社）の希望退会があった旨報告された。

#### 2. 平成21年役員・評議員選挙結果について

有権者数796名，投票総数383，無効票11，有効投票数372であった。それぞれ所要の得票数を得て，会長に松田時彦，監事に野上道男および齊藤靖二の2名，理事に新任5名を含む11名が当選者となったことが報告され，承認された。また，評議員候補者19名も全員が当選した旨報告され，承認された。

#### 3. 平成21年度助成対象について

資料〔別記1〕に基づき，研究・調査助成金として10件（申請14件）および国際研究会開催援助金として2件（申請3件）の総額495万円が提案され，承認された。

#### 4. 平成20年度事業報告，収支決算および監査報告について

原案通り承認された。

#### 5. 平成21年度事業計画，収支予算について

事業計画と収支予算書（案）が整合していない部分があり，一部については事業計画書の金額を修正することとなった。また，予算書の中の，会館会計から一般会計への繰入額と研究助成金の予算上の枠を若干修正した上で，総会に諮ることとなった。

#### 6. 総会・評議員会の日程について

平成21年度第1回評議員会，第130回通常総会，第2回理事会，および第2回評議員会をいずれも5月30日に開催することとなった。

#### 7. その他

(1)「人文・経済地理連携協議会」への対応は，これまでの経緯から，田邊 裕会員に

関与してもらうこととなった。

(2)日本地下水学会50周年記念行事への招待について，同学会の名誉会員でもある高村理事に出席を依頼することとなった。

(3)春季講演会の講師である京都大学金坂教授の写真展「イザベラ・バードの旅の舞台を巡る」への後援依頼を受諾することとなった。

### 〔別記1〕

#### 平成21年度助成金等交付先一覧

##### I. 研究・調査助成金

1. 本郷宙軌（東京大）：「西太平洋における完新世のサンゴ礁生態系の復元」（35万円）
2. 吉田英嗣（中央大）：「日本における流れ山のサイズ分布」（40万円）
3. 池田 敦（信州大）：「富士山頂の凍土融解過程の検討：永久凍土の長期変動に関する予察的研究」（40万円）
4. 近藤玲介（日本大）：「OSL年代測定による北海道北部における化石周氷河現象の形成年代」（40万円）
5. 岡田篤正（歴史都市防災研センター）：「三方湖低地の地下地質と三方断層の活動解明」（40万円）
6. 平井幸弘（駒沢大）：「ベトナム中部タムジャン・ラグーンにおける高解像度衛星画像を用いた湖沼環境評価」（40万円）
7. 上松佐知子（筑波大）：「マレーシア・ランカウィ諸島における下部・中部オールドビス系生層序の確立」（40万円）
8. 平田大二（神奈川県博）：「箱根芦ノ湖湖底の微地形および地質構造の高精細解析」（40万円）
9. 宮本真二（滋賀県琵琶湖博物館）：「ベンガル・デルタの微地形発達と土地開発史の対応関係の解明」（40万円）
10. 須貝俊彦（東京大）：「自然災害脆弱性評価に向けた沖積低地の地形発達モデルの構築」（40万円）

## II. 国際研究集会援助金

1. 福岡孝昭（立正大）：「火山灰編年・火山活動・人間活動・人間活動に関する国際野外集会およびワークショップ『アクティブテフラ九州 2010』」（50万円）
2. 池上直樹（御船町恐竜博物館）：「白亜紀のアジアにおける恐竜とその生態系の進化」（50万円）

### 評議員会（平成 21 年度第 1 回）

平成 21 年 5 月 30 日（土）11：00～12：00  
当協会会議室において開催。

評議員 20 名のうち、出席者 7 名（石原丈実、岩田修二、齊藤享治、齊藤靖二、田林 明、佃 栄吉、三ヶ田 均各評議員）、委任状提出者 9 名、合計 16 名で、定足数 14 名の本評議員会は成立した。他に役員のうち、前島会長ほか 8 名（伊達、江藤両理事を除く）の理事および嶋崎、野上両監事が同席した。

前島会長から開会挨拶とともに今限りで会長職を退任することが報告され、会の運営にあたって評議員から有益な意見をいただいたことに対して謝意が示された。

引き続き、評議員出席者の互選により佃 栄吉評議員が議長に選出された。また、議事録署名人として石原丈実、齊藤享治両評議員が指名された。

#### 議事案件

まず、第 1 号議案：平成 20 年度事業および決算について長谷庶務担当理事から報告された。平成 20 年度事業報告に関し、三ヶ田評議員から同年度内に地球惑星年（IYPE）の予備的な活動がなされているので、記録にとどめておいたほうが良いとの指摘があった。野上監事から業務・会計監査の結果問題がない旨報告された。

次に、第 2 号議案：平成 21 年度事業計画および収支予算について、長谷理事から説明された。野上監事から、定款に謳われている事業の中で地学協会が主体となって行う調査研究および地学の進歩・普及などに功績のあったものの表彰事業がなされていないことから、これらについて今後検

討したほうがよいとのコメントがあった。また高村理事から、地球規模で水管理の重要性が高まってきており、事業計画には示されていないが、このような課題について年度の途中で検討項目として取り上げられる可能性が示された。これに関連し、長谷理事から、今春地学協会の役員および評議員の改選選挙があり新役員は総会承認後会務を分担するが、本評議員会で述べられた意見が今後検討課題として新たに取り上げられる可能性があることが説明された。

以上の議事が終了し評議員会は閉会した。

### 通常総会（平成 21 年度第 130 回）

平成 21 年 5 月 30 日（土）12：45～14：00  
当協会講堂において開催。

正会員出席者は 30 名、委任状提出者数 403 名、合計 433 名により定足数 419 名の本総会は成立した。

前島郁雄会長の開会挨拶の後、会長から総会議長を齊藤靖二会員に委嘱され、同会員が総会議長をつとめた。また議事録署名人として野々村邦夫会員、長谷紘和両会員が指名された。

議事案件の審議に先立ち 13 名の逝去者に対して冥福を祈り黙祷が捧げられた。

第 1 号議案 平成 20 年度事業報告および収支決算承認の件

長谷庶務担当理事による事業報告、および西田耕一経理委員会委員による収支決算報告がなされた。また、野上監事から外部監査結果も踏まえ業務・会計監査の結果問題がない旨報告された。審議の結果、本議案は異議なく承認された。

第 2 号議案 平成 21 年度事業計画および収支予算承認の件

長谷理事から事業計画案が、西田委員から同年度収支予算案が説明され、審議の結果、異議なく承認された。なお、平成 20 年度事業として実施された国際地球惑星年（IYPE）事業に対し会員から、優れた企画できわめてよい結果が得られたこと、IYPE はまだ継続しており、今後活動にも期待する旨の発言が

あった。

第3号議案 平成21年役員・評議員選出の件  
4月6日に開票された選挙結果の報告があり、松田時彦会員を新会長とする役員（理事・監事）と評議員の選出が異議なく承認され、再任者を含めて、全員が就任を承諾した。なお、就任日を平成21年5月30日とすることに決した。引き続き、本期をもって退任する前島郁雄会長から挨拶があり、地学協会会務の遂行に相互に関連の深かった松田時彦新会長への引継ぎ紹介があった。

以上により議事を終了し、14時、議長は閉会を宣言した。

#### 理事会（平成21年度第2回）

平成21年5月30日（土）14：00～14：20  
当協会役員室において開催。

出席：松田時彦（会長）、野々村邦夫、長谷紘和、岩田修二、小川勇二郎、笠原順三、小出 仁、斉藤享治、島崎英彦、高村弘毅、松本 良の各理事（伊達二郎理事は欠席）および斉藤靖二、野上道男の両監事。

平成21年役員・評議員選挙結果を踏まえ、直前の通常総会で選出されたメンバーによる最初の理事会である。会長から、以下のような会務の指名があり、会長に事故ある場合、長谷副会長を第一代理としたい旨発言がありました承された。

野々村邦夫（副会長、助成委員会）、長谷紘和（副会長、庶務委員会、会館委員会）、岩田修二（行事委員会）、小川勇二郎（ジオエキスパート委員会）、笠原順三（編集委員会）、小出 仁（図書委員会）、斉藤享治（将来計画委員会、渉外委員会）、島崎英彦（褒賞制度検討）、高村弘毅（日本地学史編纂委員会）、伊達二郎（経理委員会）、松本良（広報委員会、特命委員会、IYPE）。

次回理事会は平成21年7月14日（火）午後5時30分から当協会役員室で開催することになった。

#### 評議員会（平成21年度第2回）

平成21年5月30日（土）14：30～14：50  
当協会会議室において開催。

出席者：評議員19名のうち出席者10名（石原丈実、海津正倫、漆原和子、大場忠道、正路徹也、田林 明、佃 栄吉、平井幸弘、三ヶ田 均、吉田鎮男各評議員）、委任状提出6名 合計16名で定足数13名以上の本評議員会は成立した。他に役員のうち、松田会長ほか10名（伊達理事を除く）の理事および斉藤、野上両監事が同席した。

松田会長の開会挨拶の後、出席者の互選により佃 栄吉評議員が議長に選出された。また議事録署名人として石原丈実、漆原和子両評議員が指名された。

#### 議事案件

まず、第1号議案として、新期役員と担当会務、新期評議員の自己紹介が行われた。各理事から現在計画遂行中の会務の引継ぎ分担紹介とともに島崎英彦理事から新たな検討事項として表彰制度を検討する会務につくことが紹介された。

次に、第2号議案として、東京地学協会の今後の活動について説明が行われた。公益法人申請に向けての準備状況について質問があり、地学協会として規定、経理両面で整備を進めつつある現状報告があった。また一般社団法人として発足した地球惑星科学連合が公益社団法人を目指す方針であることが紹介され、当協会との連携のありかたについて意見が出された。この中で同連合は専門分野横断的側面については当協会と類似点があるが公益法人として目指している基本方針は異なるとの意見があった。またこれまで地学分野から複数で法人申請が出された際、認定者側の立場には現在と異なる考え方があったことが紹介された。加えて当協会が地球惑星科学連合の一員として当協会の定款と整合性を保ちつつ主体性をもって活動を展開できる可能性などについて意見が示された。

以上の議事が終了し評議員会は閉会した。

平成 20 年度（第 130 期）事業報告書  
（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

I. 事業の概要

1. 事業方針

地学を奨励し、地学における専門分野の連携を図り、もって総合的な地学の進歩普及を推進することを目的とする。

2. 事業内容

(1) 公益事業

① 講演会および地学見学会の開催（定款第 4 条の一）

地学に関する学術の交流と普及を目的として、講演会および見学会を開催した。

ア. 講演会

i. 平成 20 年 5 月 31 日（土）春季講演会

（当協会講堂）

「地球温暖化の真相」

講演者：東京工業大学大学院理工学研究科  
教授 丸山茂徳

ii. 平成 20 年 10 月 25 日（土）秋季公開講演会  
（東京八重洲ホール）

総合テーマ

「地球温暖化の影響・適応に関する最近の話題」

総合司会：帝京大学教授 三上岳彦

講演 1 「なぜ低炭素社会に向かわなければならないのか」

講演者：国立環境研究所

顧問 西岡秀三

講演 2 「環礁の水没と海面上昇」

講演者：東京大学大学院理学系研究科

教授 茅根 創

iii. 平成 21 年 3 月 14 日（土）特別公開講演会  
（東京グリーンパレス）

総合テーマ

「知られざるチベット高原とヒマラヤ山脈」

総合司会：帝京大学教授 三上岳彦

講演 1 「ヒマラヤの東：チベットの未踏のアルプス」

講演者：日本山岳会会員 英国王立地理学  
協会バスクメダル受賞者 国立環

境研究所顧問 中村 保

講演 2 「チベット高原から生まれたヒマラヤ山脈」

講演者：京都大学大学院理学研究科  
教授 酒井治孝

講演 3 「東ヒマラヤの水河湖決壊洪水」

講演者：立教大学観光学部  
教授 岩田修二

イ. 海外見学旅行

平成 21 年 3 月 20 日（金）から 3 月 31 日（火）までの 11 日間、「トルコ大地震跡と古代都市遺跡めぐり」をテーマに海外見学旅行を実施した。

案内者：伊達二郎（当協会理事）。

② 地学雑誌の発行・頒布（定款第 4 条の二）

地学雑誌は、会員の研究成果の発表を主目的とした通常号（小特集を含む）4 冊と最新の話題や成果を特集した特集号 2 冊（117 巻 2 号から 118 巻 1 号まで）を発行した（総ページ数：1034 ページ）。また、本誌発刊 2 ヶ月後にオンラインジャーナルとして全文を地学協会ホームページに掲載している。

これらの企画・編集のための委員会を特集号に関するものを含め、20 回開催した。

③ 地質図幅等の頒布（定款第 4 条の二）

独立行政法人産業技術総合研究所との間で平成 17 年 4 月 1 日に契約された「地球科学図および地球科学データ集の有料頒布業務」についての委託契約に基づき、同研究所地質調査総合センター（旧工業技術院地質調査所）発行の地球科学図および地球科学データ集等出版物を頒布し、利用者の便宜を図った。

④ 日本地学史の編纂（定款第 4 条の三）

戦後の日本地学史（昭和 25 年～30 年）のうち、「占領時代、国際会議、学術研究体制、学・協会及び科学雑誌」の諸項目について、報告記事を地学雑誌に発表した。なお、戦後の変革が著しい「教育・研究体制」については、独立した報告

として平成 21 年度に地学雑誌に掲載される予定である。さらに、「国土調査事業，地球観測事業等」についても研究討論を終え，報告記事の構成を検討中である。これらの検討を進めるため，委員会を年 5 回開催した。

⑤地学に関する調査・研究費助成（定款第 4 条の三）

当協会が適当と認める研究・調査を助成し，地学の発展に寄与することを目的とする。昨年度からきめ細かくグループわけをして選考する方法を採用しており，会員個人またはその研究グループを対象とし，地学に関する研究・調査，および国内で開催される国際研究集会に対して助成を行った。平成 20 年度の調査研究助成については，申請 16 件の中から 10 件，国際研究集会援助に関しては，申請のあった 3 件中 2 件を採択した。助成金総額は 449 万円であった。

⑥広報活動（定款第 4 条の四）

地学雑誌のウェブ掲載を引き続き行った。また，ホームページの一新を目指して，デザインの検討を始めた。

⑦図書室の整備（定款第 4 条の五）

書架に配置された雑誌の詳細なリストを作成した（ほぼ完成）。これをもとに，1955 年から 1900 年代末までに発行された雑誌のうち，国会図書館，東京大学，産業技術総合研究所などで容易に閲覧できるものを中心に，一部を処分し，スペースの有効利用を図ることとした。

⑧将来計画委員会活動計画（定款第 4 条の八）

平成 20 年 12 月に一般社団法人として登記された日本地球惑星科学連合に，東京地学協会を団体会員として登録し，引き続き，関連学協会の一つとして連携を図ることとした。

⑨ジオエキスパート委員会による専門家紹介事業（定款第 4 条の八）

外部団体から，東京地学協会の会員を講師として招聘するにあたり，ジオエキスパート制度による資金援助の要請があり，協会共催事業として先方の要請に応えることとした。また，活動の拡大に向けて，たとえば，「自治体・NPO 等が開催する講演会・自然観察会等への講師派遣」「地質コンサルタント等が実施する若手社員研修等への講師派遣」「自治体ハザードマップ等，市民向け地図情報の理解増進のための講習会等への講師派遣」など，対象を分類した活動のあり方を検討することとし，その具体化を検討した。

⑩渉外委員会の事業

2013 年に京都市で開催されることが決定した IGU（国際地理学連合）地域会議の準備活動を，関係団体と連携して開始した。

①地学クラブ講演会の支援（定款第 4 条の一）

地学クラブは，地学全般の新しい発見や研究の動向等に関する講演会を独自に開催，会員の知識向上および一般参加者との懇親を目指して，20 年度は 7 回の例会を開いた。この地学クラブの活動に対して協会は支援を行った。

(2) 収益事業（会館特別会計）（定款第 4 条の七）

地学会館ビルの一部賃貸・会館の保全管理事業を行っている。平成 20 年度は，小規模な修理のほか，特殊建築物定期調査や建築設備定期検査とともに外壁仕上げ劣化調査を行い，今後の長期的な特別修繕計画立案の一助とした。

(3) その他定款に基づく会議の開催

- ・通常総会（1 回）平成 20 年 5 月 31 日
- ・評議員会（2 回）平成 20 年 5 月 31 日（第 1 回）  
平成 20 年 10 月 25 日（第 2 回）
- ・理事会（6 回）平成 20 年 5 月 19 日，7 月 7 日，  
9 月 29 日，11 月 18 日，平成 21 年 1 月 26 日，  
および 3 月 16 日

正味財産増減計算書総括表

平成20年度 第130期

(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

(単位：円)

科 目	一般会計	会館会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用益	(27,299)	(0)	(0)	(27,299)
基本財産受取利息	27,299	0	0	27,299
②特定資産運用益	(0)	(480,751)	(0)	(480,751)
特定資産受取利息	0	480,751	0	480,751
③受取会費	(3,893,000)	(0)	(0)	(3,893,000)
正会員受取会費	3,663,000	0	0	3,663,000
賛助会員受取会費	230,000	0	0	230,000
④事業収益	(11,129,118)	(121,275,644)	(-1,665,836)	(130,738,926)
地学雑誌収益	8,587,165	0	0	8,587,165
受託頒布地図図幅収益	1,942,910	0	0	1,942,910
手数料収益	599,043	0	0	599,043
会館賃貸収益	0	119,597,808	0	119,597,808
臨時賃貸収益	0	12,000	0	12,000
一般会計からの賃貸収益	0	1,665,836	-1,665,836	0
⑤雑収益	(128,219)	(1,584,781)	(0)	(1,713,000)
受取利息	70,981	972,181	0	1,043,162
雑収益	57,238	612,600	0	669,838
⑥他会計からの繰入額	(48,490,000)	(0)	(-48,490,000)	(0)
会館会計からの繰入額	44,000,000	0	-44,000,000	0
会館会計からの繰入額(調査研究助成)	4,490,000	0	-4,490,000	0
経常収益計	63,667,636	123,341,176	-50,155,836	136,852,976
(2) 経常費用				
①事業費用	(58,212,204)	(31,797,240)	(-832,918)	(89,176,526)
給料手当	2,232,957	796,647	0	3,029,604
賞与引当金繰入	204,800	102,400	0	307,200
退職給付費用	522,400	261,200	0	783,600
福利厚生費	340,758	170,380	0	511,138
地学雑誌出版費	40,114,271	0	0	40,114,271
受託頒布地図図幅事業費	301,391	0	0	301,391
消耗品費	223,145	223,147	0	446,292
印刷費	127,260			127,260
旅費交通費	105,880	52,940	0	158,820
通信運搬費	209,317	209,319	0	418,636
水道光熱費	131,788	131,790	0	263,578
租税公課	900,148	14,693,804	0	15,593,952
火災保険料	18,603	214,374	0	232,977
支払報酬	932,750	932,750	0	1,865,500
会館委員会費	0	0	0	0
会議費	280,698	280,700	0	561,398
管理委託費	972,804	972,804	0	1,945,608
修繕費	89,719	1,033,879	0	1,123,598
交際費	10,653	10,654	0	21,307
減価償却費	72,029	11,263,882	0	11,335,911
会館会計への貸借料	832,918	0	-832,918	0
支払利息	0	0	0	0
新聞図書費	19,611	19,613	0	39,224
リース料	246,960	246,960	0	493,920
雑費	179,995	179,997	0	359,992
調査研究助成費	4,490,000	0	0	4,490,000
地学クラブ費	251,771	0	0	251,771
ホームページ費	558,075	0	0	558,075
オンラインジャーナル費	519,645	0	0	519,645
各種委員会費(事業用)	(3,321,858)	0	0	(3,321,858)
行事委員会費	2,037,430	0	0	2,037,430

図書委員会費	810,655	0	0	810,655
助成委員会費	93,913	0	0	93,913
日本地学史編纂委員会費	233,150	0	0	233,150
広報委員会費	69,902	0	0	69,902
将来計画委員会費	0	0	0	0
ジオエキスパート委員会費	76,808	0	0	76,808
②管理費	(18,726,161)	(0)	(- 832,918)	(17,893,243)
給料手当	9,414,518	0	0	9,414,518
賞与引当金繰入	716,800	0	0	716,800
退職給付費用	1,828,400	0	0	1,828,400
福利厚生費	1,192,655	0	0	1,192,655
消耗品費	223,145	0	0	223,145
印刷費	0	0	0	0
旅費交通費	370,580	0	0	370,580
通信運搬費	209,317	0	0	209,317
水道光熱費	131,788	0	0	131,788
租税公課	896,048	0	0	896,048
火災保険料	18,603	0	0	18,603
支払報酬	932,750	0	0	932,750
議会費	280,698	0	0	280,698
管理委託費	972,804	0	0	972,804
修繕費	89,719	0	0	89,719
交際費	10,653	0	0	10,653
減価償却費	72,029	0	0	72,029
会館会計への賃借料	832,918	0	- 832,918	0
新聞図書費	19,611	0	0	19,611
リース料	246,960	0	0	246,960
雑費	179,995	0	0	179,995
各種委員会費(管理用)	(86,170)	0	0	(86,170)
庶務委員会費	46,250	0	0	46,250
経理委員会費	39,920	0	0	39,920
③他会計への繰出額	(0)	(48,490,000)	(- 48,490,000)	(0)
一般会計への繰出額	0	44,000,000	- 44,000,000	0
一般会計への繰出額(調査研究助成)	0	4,490,000	- 4,490,000	0
経常費用計	76,938,365	80,287,240	- 50,155,836	107,069,769
当期経常増減額	- 13,270,729	43,053,936	0	29,783,207
2 経常外損益の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	13,907	0	0	13,907
経常外費用計	13,907	0	0	13,907
当期経常外増減額	- 13,907	0	0	- 13,907
税引前当期一般正味財産増減額	- 13,284,636	43,053,936	0	29,769,300
法人税、住民税及び事業税	0	14,770,800	0	14,770,800
法人税等調整額	0	- 192,164	0	- 192,164
当期一般正味財産増減額	- 13,284,636	28,475,300	0	15,190,664
一般正味財産期首残高	53,457,888	305,257,738	0	358,715,626
一般正味財産期末残高	40,173,252	333,733,038	0	373,906,290
II 指定正味財産増減の部				
①基本財産運用益	(27,299)	(0)	(0)	(27,299)
基本財産受取利息	27,299	0	0	27,299
②一般正味財産への振替額	(27,299)	(0)	(0)	(27,299)
一般正味財産への振替額	27,299	0	0	27,299
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,000,000	0	0	10,000,000
指定正味財産期末残高	10,000,000	0	0	10,000,000
III 正味財産期末残高	50,173,252	333,733,038	0	383,906,290

貸借対照表総括表

平成20年度 第130期

(平成21年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	一般会計	会館会計	相 殺	合 計
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金	27,439,580	40,684,376	0	68,123,956
受託頒布地質図幅等	596,874	0	0	596,874
前払金	0	0	0	0
会館会計勘定	3,832,157	0	-3,832,157	0
繰延税金資産	0	1,525,175	0	1,525,175
流動資産合計	31,868,611	42,209,551	-3,832,157	70,246,005
2 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
基本財産合計	10,000,000	0	0	10,000,000
(2) 特定資産				
敷金返還引当資産	0	59,679,000	0	59,679,000
特別修繕積立資産	0	18,500,000	0	18,500,000
地学会館建替積立資産	0	81,454,000	0	81,454,000
特定資産合計	0	159,633,000	0	159,633,000
(3) その他固定資産				
建物	0	150,871,590	0	150,871,590
構築物	0	914,029	0	914,029
図書	1,843,113	0	0	1,843,113
什器備品	698,986	2,250,838	0	2,949,824
土地	2,225,340	0	0	2,225,340
電話加入権	323,448	0	0	323,448
投資有価証券	0	70,313,075	0	70,313,075
定期預金	4,740,000	0	0	4,740,000
その他固定資産合計	9,830,887	224,349,532	0	234,180,419
固定資産合計	19,830,887	383,982,532	0	403,813,419
資産合計	51,699,498	426,192,083	-3,832,157	474,059,424
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	282,142	2,219,300	0	2,501,442
未払法人税等	0	15,172,000	0	15,172,000
前受金	0	9,966,484	0	9,966,484
預り金	527,304	0	0	527,304
賞与引当金	716,800	1,590,200	0	2,307,000
一般会計勘定	0	3,832,157	-3,832,157	0
流動負債合計	1,526,246	32,780,141	-3,832,157	30,474,230
2 固定負債				
預り敷金	0	59,678,904	0	59,678,904
固定負債合計	0	59,678,904	0	59,678,904
負債合計	1,526,246	92,459,045	-3,832,157	90,153,134
III 正味財産の部				
1 指定正味財産	10,000,000	0	0	10,000,000
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(0)	(0)	(10,000,000)
2 一般正味財産	40,173,252	333,733,038	0	373,906,290
(うち特定資産への充当額)	(0)	(99,954,096)	(0)	(99,954,096)
正味財産合計	50,173,252	333,733,038	0	383,906,290
負債及び正味財産合計	51,699,498	426,192,083	-3,832,157	474,059,424

財 産 目 録  
平成 20 年度 第 130 期  
(平成 21 年 3 月 31 日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	金 額	金 額
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現金 預 金			
現金	現金手元有高	237,682	
普通預金	みずほ銀行飯田橋支店	41,585,147	
普通預金	みずほ銀行麹町支店	7,320,120	
普通預金	三菱東京 UFJ 銀行麹町中央支店	4,109,858	
普通預金	三井住友銀行麹町支店	3,482,889	
普通預金	住友信託銀行東京営業部	846,647	
金銭信託	住友信託銀行東京営業部	399,801	
普通預金	みずほ信託銀行本店	56,101	
振替貯金		85,711	
定期預金	みずほ銀行飯田橋支店	10,000,000	
計		68,123,956	
受託頒布地質図幅等 販売用頒布地質図外		596,874	
前払金 国債購入未経過利息		0	
繰延税金資産		1,525,175	
流動資産合計		70,246,005	
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
定期預金	住友信託銀行東京営業部	10,000,000	
基本財産合計		10,000,000	
(2) 特 定 資 産			
敷金返還引当資産 定期預金			
みずほ銀行飯田橋支店		20,000,000	
三菱東京 UFJ 銀行麹町中央支店		39,679,000	
計		59,679,000	
特別修繕積立資産	みずほ銀行飯田橋支店	18,500,000	
地学会館建替積立資産	みずほ銀行飯田橋支店	81,454,000	
特定資産合計		159,633,000	
(3) その他固定資産			
建物	東京都千代田区二番町 12-2   2,927.48 m <sup>2</sup>	150,871,590	
構築物	塀外	914,029	
図書	CHINA 第 2 巻, 手書彩色関東実測図覆刻版一揃外	1,843,113	
什器備品	書棚, カーペット, パソコン外	2,949,824	
土地	東京都千代田区二番町 12-2   505.04 m <sup>2</sup>	2,225,340	
電話加入権	03 (3261) 0809 外 5 本	323,448	
定期預金	住友信託銀行東京営業部	3,000,000	
定期預金	みずほ信託銀行 本店	1,740,000	
利付国庫債券	(5 年及び 10 年)	70,313,075	
その他固定資産合計		234,180,419	
固定資産合計		403,813,419	
資産合計			474,059,424
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未払金	未払消費税等, 地球科学図等頒布代金	2,501,442	
未払法人税等	法人税, 住民税及び事業税	15,172,000	
前受金	会館会計収入分	9,966,484	
預り金	職員に対する源泉所得税外	527,304	
賞与引当金		2,307,000	
流動負債合計		30,474,230	
2 固 定 負 債			
預り敷金	第一建築サービス(株)	59,678,904	
固定負債合計		59,678,904	
負債合計			90,153,134
正味財産			383,906,290

平成 21 年度（第 131 期）事業計画書  
（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

1. 事業方針

地学を奨励し、地学における専門分野の連携を図り、もって総合的な地学の進歩普及を推進することを目的とする。

2. 事業内容

(1) 公益事業

①講演会および地学見学会の開催（定款第 4 条の一）

地学に関する学術の交流と普及を目的として、講演会および見学会を開催する。

i. 講演会

- ・定例の講演会を春季及び秋季の 2 回開催する。
- ・IYPE(国際惑星地球年)記念の特別講演会(講演とコンサートのタペ〈地球とハーモニー〉)を開催する。—5 月 2 日(土): 日本大学カザルスホールにおいて—
- ・IYPE-Japan が予定している IYPE 活動を締めくくる Conference and Exhibition に積極的に参加する。

ii. 見学会

海外見学会(巡検)と国内の見学会(地学を楽しむ会)を参加者公募でそれぞれ 1 回行う。国内見学会については、一般の人、特に比較的若い人々を対象に、地学について興味をもってもらう目的で、「地学を楽しむ会」として開催する。海外見学会(巡検)については、外国の地学的に興味のある場所・施設を、専門家による話を聞きながら見学する(場所と開催時期は未定)。

iii. 行事関連ホームページの更新

開設以来相当期間を経過したので、ホームページの行事関連部分を全面的に見直し、更新する。

事業費：総額 280 万円

②地学雑誌の発行・頒布（定款第 4 条の二）

会員の研究成果の発表を目的として地学雑誌の発行を継続する。地学雑誌の編集・発行を通じ、地学の普及と発展に寄与する。

地学雑誌は年 6 回、約 1000 頁を、偶数月の

25 日に発行する。偶数月は可能であればその年のホットな地学界の問題点を取り上げ、特集号とする。そのうち 1 号を編集委員会の企画による特集号とする。平成 21 年度は 118 巻 2 号から 119 巻 1 号までを発行する。月例の編集委員会は年 11 回開催し、特集号の企画・編集のための会議は随時開催する。

なお、別刷は著者ごとに CD-ROM 一枚にまとめ、これを各著者に無償で提供する(印刷物の別刷が必要な場合には有償で提供する)。さらに年度末には会誌一巻を一枚の CD-ROM にまとめ、地学協会の原備データとする。

JST の Journal@rchive に対応する作業を進めるとともに、117 巻以降の論文について、J-stage に掲載する手続きを進める。J-stage に関連する費用は、広報活動のオンラインジャーナル費に計上する。

地学雑誌出版費：総額 3,822 万円

内訳：編集費：1,750 万円(編集担当職員人件費)

編集委員会費：305 万円

印刷製本費：1,667 万円

地学雑誌発送費：100 万円

③地質図幅等の頒布（定款第 4 条の二）

独立行政法人産業技術総合研究所との間で平成 17 年 4 月 1 日に契約された「地球科学図および地球科学データ集の有料頒布業務」についての委託契約に基づき、同研究所地質調査総合センター(旧工業技術院地質調査所)発行の地球科学図および地球科学データ集等出版物を委託販売により頒布し、利用者の便宜を図る。

④日本地学史の編纂（定款第 4 条の三）

戦後の地学史のうち、「国土調査事業、地球観測事業等」について報告記事を完成させる。さらに、「個別分野の調査研究」の初回として、「測地学・地震学・地球物理学、気象学、海洋学・火山学」を調査し総括する予定である。また、これまで地学雑誌に掲載してきた研究成果をまとめ、単行本と出版するための準備を行う。委員会は年

3～4回開催する。

委員会費：45万円

⑤地学に関する調査・研究費助成（定款第4条の三）

当協会が適当と認める研究・調査を助成し、地学の発展に寄与することを目的とする。

助成対象は会員または会員が加わっている研究グループとし、地学に関する研究・調査、および国内で開催される国際研究集会に対して助成を行う。

助成委員会は、応募者の中から助成対象候補を選考し、理事会の承認を受けて、調査・研究の助成金、国際研究集会援助金および貸付金等の配分を行う。

調査研究助成金総額：470万円

選考委員会費：10万円

⑥広報活動（定款第4条の四）

地学雑誌のウェブ掲載の推進と、ホームページの維持・拡充を図る。

総額 405万円

i. 新刊のオンライン公開に加えてJ-stageへの掲載を開始する（今年度は117巻および118巻）。

オンラインジャーナル費：165万円

ii. ホームページの維持・拡充

ホームページ更新費（地学雑誌部分—前年度からの継続）：150万円

ホームページ維持費：80万円

広報委員会費：10万円

⑦図書室の整備（定款第4条の五）

雑誌の製本、図書整理を継続して行うほか、東京地学協会の過去の出版物をCD-ROM化し、永年保存するとともに、希望者に対する有料頒布を行う。

図書委員会費総額 100万円

内訳：雑誌製本、図書整理費等：40万円、

CD-ROM製作費：60万円

⑧将来計画委員会活動計画（定款第4条の八）

i. 東京地学協会の将来展望に関する検討

ii. 地球惑星科学連合との連携窓口としての活動

iii. その他、会長・理事会から諮問された事項の検討

委員会費：10万円

⑨ジオエキスパート委員会による専門家紹介事業

（定款第4条の八）

ジオエキスパートは、協会の社会貢献事業の一つと位置付けられ、公募により自治体・NPO・企業などに、地学関連の（登録）専門家を講師などとして紹介する事業としてスタートした。今年度は、たとえば、「自治体・NPO等が開催する講演会・自然観察会等への講師派遣」「地質コンサルタント等が実施する若手社員研修等への講師派遣」「自治体ハザードマップ等、市民向け地図情報の理解増進のための講習会等への講師派遣」など、対象を分類した活動のあり方を検討し、リーフレットを作って潜在的需要を掘り起こす。また、講師等の確保のため、会員向けの広報にも努め、協会の役員・評議員経験者等に率先して講師登録を行ってもらう。

総額 60万円

内訳：委員会開催費、関連ホームページ作成・維持費、パンフレット作成費、協会負担の講師派遣費（20万円）などを含む。

⑩渉外活動（定款第4条の四）

2013年、京都において開催する「IGU地域会議」に関する渉外業務を中心に、その他渉外業務を担当実施する。

委員会費：10万円

⑪地学クラブ講演会の支援（定款第4条の一）

地学クラブは、地学全般の新しい発見や研究の動向等に関する講演会を開催し、会員の知識向上を目指すことを目的としている。この地学クラブの活動に対して協会は支援を行う。

講演会は年10回程度開催する。講演会の演題と講演者を決めるため、年4回程度世話人会を開催する。

地学クラブ費 45万円

(2) 収益事業（会館特別会計）（定款第4条の七）

地学会館ビルの一部賃貸・会館の保全管理事業  
当協会の公益事業を安定的かつ継続的に行うため、収益事業（会館特別会計）から一般会計へ資金的支援を行う。そのため、引続き地学会館ビルの一部を賃貸する。また、引続き必要に応じた、または長期計画に則った改修を行っていく。

収支予算書総括表

平成21年度 第131期

(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

(単位:円)

科 目	一般会計	会館特別会計	内部取引消去	合計
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
①基本財産運用収入	10,000	0	0	10,000
基本財産利息収入	10,000	0	0	10,000
②特定資産運用収入	0	0	0	0
特定資産利息収入	0	0	0	0
③会費収入	4,000,000	0	0	4,000,000
正会員会費収入	3,800,000	0	0	3,800,000
賛助会員会費収入	200,000	0	0	200,000
④事業収入	10,500,000	121,042,000	-1,424,000	130,118,000
地学雑誌収入	8,000,000	0	0	8,000,000
受託頒布地質図幅収入	2,000,000	0	0	2,000,000
手数料収入	500,000	0	0	500,000
会館賃貸収入	0	119,598,000	0	119,598,000
臨時賃貸収入	0	20,000	0	20,000
一般会計からの賃貸収入	0	1,424,000	-1,424,000	0
⑤雑収入	150,000	450,000	0	600,000
受取利息	50,000	450,000	0	500,000
雑収入	100,000	0	0	100,000
⑥他会計からの繰入金収入	41,700,000	0	-41,700,000	0
会館特別会計からの繰入金収入	37,000,000	0	-37,000,000	0
研究調査助成金振当収入	4,700,000	0	-4,700,000	0
事業活動収入計	56,360,000	121,492,000	-43,124,000	134,728,000
2 事業活動支出				
①事業費	62,912,400	23,765,200	-712,000	85,965,600
地学雑誌出版費支出	38,220,000	0	0	38,220,000
編集費支出	17,500,000	0	0	17,500,000
編集委員会費	3,050,000	0	0	3,050,000
印刷製本費支出	16,670,000	0	0	16,670,000
地学雑誌発送費支出	1,000,000	0	0	1,000,000
受託頒布地質図幅事業費支出	600,000	0	0	600,000
給料手支出当	3,120,000	1,560,000	0	4,680,000
退職掛金支出	62,400	31,200	0	93,600
福利厚生費支出	360,000	180,000	0	540,000
消耗品費支出	200,000	200,000	0	400,000
旅費交通費支出	300,000	300,000	0	600,000
通信運搬費支出	370,000	370,000	0	740,000
水道光熱費支出	200,000	200,000	0	400,000
租税公課支出	800,000	14,000,000	0	14,800,000
火災保険料支出	18,000	224,000	0	242,000
支払報酬支出	800,000	800,000	0	1,600,000

会議費支出	320,000	320,000	0	640,000
管理委託費支出	1,000,000	1,000,000	0	2,000,000
修繕費支出	600,000	3,800,000	0	4,400,000
交際費支出	20,000	20,000	0	40,000
会館特別会計への賃借料支出	712,000	0	-712,000	0
新聞図書費支出	50,000	50,000	0	100,000
リース料支出	390,000	390,000	0	780,000
雑支出	320,000	320,000	0	640,000
調査研究助成金支出	4,700,000	0	0	4,700,000
地学クラブ費支出	450,000	0	0	450,000
ホームページ費支出	2,400,000	0	0	2,400,000
オンラインジャーナル費支出	1,650,000	0	0	1,650,000
各種委員会支出(事業用)	5,250,000	0	0	5,250,000
行事委員会費支出	2,800,000	0	0	2,800,000
図書委員会費支出	1,000,000	0	0	1,000,000
助成委員会費支出	100,000	0	0	100,000
日本地学史編纂委員会費支出	450,000	0	0	450,000
広報委員会費支出	100,000	0	0	100,000
将来計画委員会費支出	100,000	0	0	100,000
ジオエキスパート委員会費支出	600,000	0	0	600,000
渉外委員会費支出	100,000	0	0	100,000
②管理費支出	19,298,400	0	-712,000	18,586,400
給料手当支出	10,920,000	0	0	10,920,000
退職掛金支出	218,400	0	0	218,400
福利厚生費支出	1,260,000	0	0	1,260,000
消耗品費支出	200,000	0	0	200,000
印刷費支出	400,000	0	0	400,000
旅費交通費支出	300,000	0	0	300,000
通信運搬費支出	370,000	0	0	370,000
水道光熱費支出	200,000	0	0	200,000
租税公課支出	800,000	0	0	800,000
火災保険料支出	18,000	0	0	18,000
支払報酬支出	800,000	0	0	800,000
会議費支出	320,000	0	0	320,000
管理委託費支出	1,000,000	0	0	1,000,000
修繕費支出	600,000	0	0	600,000
交際費支出	20,000	0	0	20,000
会館特別会計への賃借料支出	712,000	0	-712,000	0
新聞図書費支出	50,000	0	0	50,000
リース料支出	390,000	0	0	390,000
雑支出	320,000	0	0	320,000
各種委員会支出(管理用)	400,000	0	0	400,000
庶務委員会費支出	100,000	0	0	100,000
経理委員会費支出	100,000	0	0	100,000
会館委員会費支出	200,000	0	0	200,000

③法人税等支出	0	21,000,000	0	21,000,000
法人税, 住民税及び事業税	0	21,000,000	0	21,000,000
④他会計への繰入金支出	0	41,700,000	-41,700,000	0
(1) 一般会計への繰入金支出	0	37,000,000	-37,000,000	0
(2) 調査研究助成金繰入金支出	0	4,700,000	-4,700,000	0
事業活動支出計	82,210,800	86,465,200	-43,124,000	125,552,000
事業活動収支差額	-25,850,800	35,026,800	0	9,176,000
Ⅱ 投資活動収支の部				
1 投資活動収入	0	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0	0
2 投資活動支出	200,000	39,500,000	0	39,700,000
①特定預金支出	0	39,500,000	0	39,500,000
特別修繕積立資産支出	0	18,500,000		18,500,000
地学会館建替積立金支出	0	21,000,000	0	21,000,000
②固定資産購入支出	200,000	0	0	200,000
利付国庫債券購入支出	0	0	0	0
什器備品購入支出	200,000	0	0	200,000
投資活動支出計	200,000	39,500,000	0	39,700,000
投資活動収支差額	-200,000	-39,500,000	0	-39,700,000
Ⅲ 財務活動収支の部				
1 財務活動収入	0	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0	0
2 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0
Ⅳ 予備費支出	2,000,000	2,000,000	0	4,000,000
当期収支差額	-28,050,800	-6,473,200	0	-34,524,000
前期繰越収支差額	31,950,091	8,006,635	0	39,956,726
次期繰越収支差額	3,899,291	1,533,435	0	5,432,726
当期支出合計	84,410,800	127,965,200	-43,124,000	169,252,000